

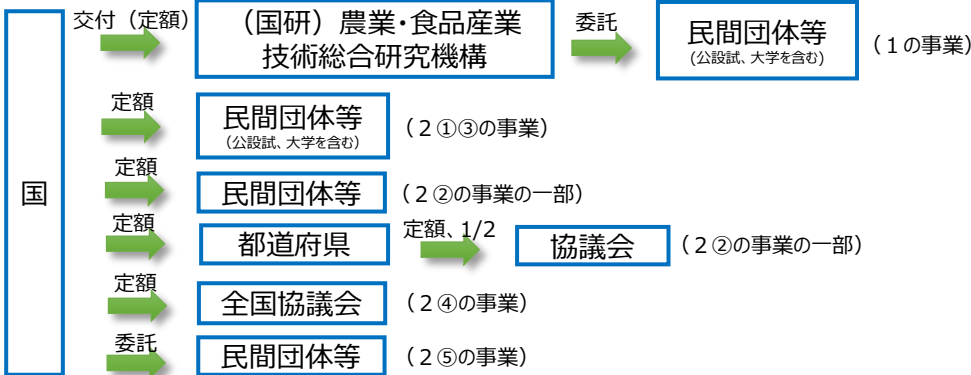
<対策のポイント>
スマート農業の社会実装を加速するため、必要な技術開発・実証やスマート農業普及のための環境整備等について総合的に取り組みます。

<事業目標>
農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [令和7年まで]

<事業の内容>

1. スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証
- スマート農業の社会実装を加速化するため、必要な技術の開発やデータを活用した現場実証等を行います。
- ① 次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化
 - ② 戦略的スマート農業技術の実証・実装
 - ③ ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証
2. スマート農業普及のための環境整備
- スマート農業を普及させるための環境整備を行います。
- ① 農林水産データ管理・活用基盤強化
 - ② データ駆動型農業の実践・展開支援事業
 - ③ 農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討
 - ④ データ駆動型土づくり推進
 - ⑤ スマート農業教育推進

<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. スマート農業社会実装加速化のための技術開発・実証

①次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化

生産現場における技術ニーズや将来の労働力の状況を見据え、生産性の飛躍的向上に必要な不可欠なスマート農業技術の開発・改良・実用化を推進

②戦略的スマート農業技術の実証・実装

海外依存度の高い農業資材や労働力の削減効果が期待される先進的なスマート農業技術を実証

③ペレット堆肥活用促進のための技術開発・実証

ペレット堆肥の製造・物流を最適化するシステムの構築、帰り荷となる敷料の探索、現地実証

2. スマート農業普及のための環境整備

① データ連携による新たなサービス開発を支援

サービス事業者が利用する営農管理システムの開発を支援

② データ活用の体制づくりを支援

環境モニタリング装置等

産地によるデータ駆動型農業の実践

③ 自動走行農機

有識者委員会の遠隔監視による自動走行の安全性確保策の検討

④ AIによる土壌診断技術の開発

土壌診断の実施

改善効果の検証

⑤ スマート農業教材の充実

現役農業者・教員向けの研修会の開催等

スマート農業の社会実装・実践